

梅雨前線に伴う降雨による防災情報(第2報)

新庄河川事務所では、災害対策支部(注意体制・砂防)を設置しておりましたが、鮭川流域の平岡橋及び真木水位観測所で水防団待機水位を超えたため、7月11日5時40分に災害対策支部(注意体制・河川)を設置しました。

1. 新庄河川事務所の体制

7月11(火) 5時00分 災害対策支部(注意体制・砂防)設置

7月11(火) 5時40分 災害対策支部(注意体制・河川)設置

※災害対策支部(砂防)設置基準

注意体制:連続雨量80mmに達し土砂災害の恐れがある場合

警戒体制:連続雨量120mmに達し土砂災害の恐れがある場合

2. 河川情報(7月11日 5時40分現在)

河川名	観測所名	現在の 水位	状況	水防団 待機水位 (レベル1)	氾濫注意水位 (警戒水位) (レベル2)	避難判断水位 (レベル3)	氾濫危険水位 (危険水位) (レベル4)
鮭川	真木	2.63m	上昇中↑	2.50m	3.50m	6.00m	6.90m
金山川	平岡橋	1.84m	上昇中↑	1.80m	2.50m	3.10m	3.50m

3. 今後の見通し

引き続き河川の水位が上昇する恐れがありますので、今後の気象情報等にご注意願います。

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

山形県新庄市小田島町5-55

TEL:0233-22-0262

副所長(河川) 田中 和博(内線204)

副所長(砂防) 齋藤 信哉(内線205)

調査課長 荒澤 慎一(内線351)